

平成 31 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	講習名	【必修】教育の最新事情				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法
藤井 宣彰 下崎 邦明 向居 暁 坪田 雄二	広島キャンパス	6 時間	小学校教諭、及び中学校・ 高等学校教諭	60 人	講義・ 討議	筆記
開催日	8 月 1 9 日 (月)		予備日	8 月 2 6 日 (月)		
【到達目標】 必修領域として定められている内容に関して、最新の知識・技能を習得すること、今日的な教育課題についての理解を深めることが目標である。						
【講習の概要】 「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む）」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、担当講師の専門性を活かしながら講義を行う。						
【講習の内容】 講義：国の教育政策や世界の教育の動向（担当：藤井宣彰） 国内外の学力政策について、国際的な学力調査 PISA 等の結果を参照しながら、①我が国及び諸外国の学力の現状と取り組み、②OECD 国際教員指導環境調査（TALIS）等の結果を参照し、我が国及び諸外国の教員指導環境の現状について概説する。また、平成 27 年中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）（中教審第 185 号）」等に基づき、今後の学校運営に関する方向性について考察する。						
講義 2：教員としての子ども観、教育観等についての省察（担当：下崎邦明） 子ども観、教育観の歴史的変遷及び 21 世紀の社会において求められる子ども観、教育観への転換について省察するとともに、現代の子どもを取り巻く状況や学校教育に期待されることの変化を踏まえ、受講者の経験など具体的な事例をもとに討議等を行い相互に交流し深め合うことをとおして、専門職である教師としての今後の教育実践を展望する						
講義 3：子どものやる気と学習のつまずきについての心理学（担当：向居 暁） 教育活動において頻繁に出くわす「やる気」に関する疑問について、発達心理学の研究知見を紹介しながら、褒めることや叱ることの効果、体罰がいけない理由、自己決定の大切さなどについて学ぶ。また、発達障害とワーキングメモリの関係について概説し、発達障害や学習につまずきのある児童・生徒への対応について学ぶ。						
講義 4：心理学的知見を活かした生徒指導、学級経営（担当：坪田雄二） 責任の分散、集団極化現象などの社会心理学の知見を基礎とした生徒指導、生徒理解、学級経営の在り方について考察するとともに、生徒理解におけるカウンセリングマインドの重要性などを取り上げ、概説する。						
【備考】 試験の際、講義資料とノートの持ち込みを認めます。						